

Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



SGD022-02

会場:201A

時間:5月23日 14:45-15:00

福岡県沖における海底重力調査 Sea Floor Gravity Survey of Offshore Area of Fukuoka prefecture

駒澤 正夫^{1*}, 大熊 茂雄¹

Masao Komazawa^{1*}, Shigeo Okuma¹

¹ 産業技術総合研究所地質情報研究部門

¹ Geological Survey of Japan, AIST

福岡県沖で浅部地下構造を広域的に把握するため2010年9月より1ヶ月かけて海底重力調査を行った。測定点はほぼ2km間隔に沖合5kmまでに配置され、総測点数は100点となった。また、離島でも重力測定を行い海底重力データと編集した。調査域における特徴的なブーゲー異常として、陸側に見られる急勾配構造が海側にもそのまま連続することが判った。但し、警固断層の海側への連続性は明瞭ではない。また、海底重力調査の成果として、船上重力でも見られた勾配構造が、より急勾配構造であることが判ったことである。2005年福岡県西方沖地震の震源域に局所的な低重力異常が見出され破碎構造が推定されることも判った。

キーワード: 海底重力, 福岡県沖, 福岡県西方沖地震, 警固断層

Keywords: Sea floor gravity, offshore of fukuoka prefecture, 2005 Fukuoka earthquake, Kego fault